

魚津市自治振興会連合会第2回定例会 会議録

日 時 平成30年7月25日(水)午後6時～
場 所 魚津市役所第1会議室
出席者 自治振興会連合会 平内幸典会長、米澤賢太郎副会長、大崎勇副会長、
馬場均監事、高瀬忠次監事、谷林正昭、松原勇、
伊藤甚宰、水口富代明、関口斎、佐々木和允、大野聡一、
野島裕子、亀沢俊幸、田中光幸、山城清、鍋谷薫、
野村博、高木宣行
事務局 山本課長、江幡主任、谷田主任、清水

1. 開会

平内会長あいさつ

2. 協議事項

視察研修会について・・・資料1

資料1を基に事務局説明

- ・市民センターのホワイトボードの裏に、避難所を開設するときの運営マニュアルが記載されていた。避難訓練で活用していると思われた。市においても各地域で活用できると思った。
- ・市民センター化についてどのようにしていくべきかを勉強した。そして、コミュニティビジネスについて、市と協議しながらどのような形で進めていくべきか、地域でも事業を進めていく上でお金が必要となってくる。名張市の例は大変良かったと思う。法人化して市民センター化していきたいと考えている。公民館なり振興会なりにこだわってしまうので、一本化して大きな組織の中でどのように運営していくべきか考える必要がある。
- ・法人化するにもハードルが高い。この法人化にしても、地縁団体にかわる法人化について国に要望しているとの話もあった。魚津市として方向性を出しながら、議論を詰めていかないといけない。市は、地域振興会ができたときに、公民館をコミュニティセンターにすると内容を整理しないまま話していた。
- ・名張市では市民センター化した時に公民館条例を廃止し市民センター条例を制定したが、魚津市は制定できるのか。我々が決められるわけではないので不安だ。条例の制定等には議会の議決が必要。議会の方に話をする場も必要となってくる。
- ・議会において市長から、公民館の市民センター化等について名張市を参考にしてもいいとの発言があった。この視察をよい機会として、今後役員会、定例会等で中身を詰めていくことが必要と思っている。公民館の指定管理については、平成23年に議論されているが、その後一向に話が進んでいない。公民館は行政機関の一部なので、ここで地域が

活動すると市の下請け機関であると誤解を受ける危険性がある。なので地域が主体性を持ってやっていくときにはどういう形がいいのか協議していかなくてはいけない。

- この視察を機に、魚津市自治基本条例を勉強した。市民センター化の議論を進めていくと公民館の位置付けが微妙になってくるのではないかと思う。市民センター化については賛成だが、これについては地域の合意が不可欠であり、地域住民にどう理解していただくかが問題と思う。
- 昨年、本江公民館を建替えして、市民センターにしてほしいと要望した。しかし、教育委員会からはセンター化はしません、公民館を建替えますとの返事だった。市民センター化等について、議員のみなさんであったり、市当局の頭も切り替えてほしい。そのためにも連合会内で勉強し、要求していくことが必要と思う。
- 以前この場で公民館運営審議委員が必要なのかとの議論があった。しかし、教育委員会から公民館運営審議委員はなくすわけにはいかないとのことで話はなくなった。今議題に挙がっている市民センター化についても同じような問題が起こると考えている。市の方でも、今後の公民館について考えていただきたい。私は地域の活性化を行う場所にしたい、そうであるならば公民館ではなく市民センターという名でもいいと考えています。公民館という名を残して、これが活動のネックになるようなことはしたくない。
- 昔から公民館は各種団体の活動拠点として存在していた。しかし、現在は状況が変わってきている。地域においても地域振興会が発足し、行事も地域振興会が行っている。ですので、今後は議会とも話をしながら、名張市みたいに公民館を市民センターにしていかななくてはならない時期に来ていると思います。
- 今後協議を進めていく上で、公民館がコミュニティの中にどのような位置付けになるのか、どのような役割となるのか議論となってくる。
- 名張市では、公民館における活動を全く行っていないわけではない。運営審議会も存在する。まちづくり協議会はお金の受け皿になって、各団体に配分している。館の管理は指定管理です。名張地域では、指定管理料には人件費と維持管理費が含まれていますが、実際はそれだけでは足りず、まちづくり協議会の方からお金を繰り入れている。
- 名張市では公民館運営審議委員は社会教育事業を行っているので残している。各公民館を指定管理にすることと、コミュニティビジネスをやりやすくするため、そして公民館の使用料を取るために市民センター化したと聞いている。
- 大町地区では、最初からコミュニティセンターの一部が公民館となっているので、名張市の話聞いても全く違和感がなかった。コミュニティビジネスの話聞いたが、行政的な考えをしているのかなかなか利益を出せていないことや、補助金頼みの話をしていった。地域自治を進めていくのであれば、自分たちでやっていける事業を今後考えていかななくてはいけないと思います。最終的には地域自治をそれぞれの地域でやっていけるように、皆さんのベクトルを合わせて行っていければと思う。
- 以前は運動会などのイベントは公民館主催だったが、現在では地域振興会が主催で行っている。そしてその他の公民館事業についても、地域振興会の組織の中で事業を行い、

地域の方々にも理解していただいている。

- ・公民館と地域振興会の総会は同一日に行い、審議していただいている。
- ・視察の報告会を地域で行った。市民センター化すると公民館がなくなるのかという話になった。
- ・公民館事業と振興会事業については、しっかり線を引いて行ってきたので、公民館事業が振興会事業の中に入ることに抵抗が出てくる方もいる。
- ・公民館事業が地域振興会事業の中に入るという指導の下、地域振興会を設立した経緯がある。また事業は、地域振興会の中にそれぞれ実行委員会を作り行っている。私は、この方式がいいと思っている。
- ・公民館のあり方を含めて、今後協議を進めていきたいと思いますのでよろしくお願ひしたい。併せて、一度議員と意見交換も行いたいと考えている。

地域振興会との懇談会について・・・資料2

事務局 資料2を基に説明

- ・この懇談会の目的は。市が意見を聞き、今後どう生かしていくのか教えてほしい。
⇒懇談会を通して、地域振興会がどこまで進んで、どういった状態であるかを知りたかったのが目的です。また、この結果を情報提供することにより、他地域のやり方を見て参考になるところがあればいいとも思っている。
- ・この結果を見ると、各地域の課題もはっきりわかる。

3. その他

次回定例会の日程について

平成30年9月26日（水）午後6時～

視察研修会のアンケートについて

平成30年8月3日（金）までに事務局へ提出

4. 閉会